

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成26年7月1日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第28号

こんにちは、ばんよしはるです。今日も蒸し暑い中でこの記事を書いております。皆様におかれましては、くれぐれも体調管理に努めていただき、蒸し暑い時期を乗り切ってください。

この6月議会で議会決議したことや、役場から報告があったことを報告させていただきます。前回の続きになりますが、中央公民館の隣を通る都市計画道路は現在国道25線に繋がっておりませんが、地権者と町との契約が完了し、今後中央公民館付近の工事が始まるとの報告がありました。

ただし、工事完了後の道の供用開始に対しては、公安関係との協議があることから、時期は示されませんでした。

次に、平成26年10月1日から県の精神障害者医療費助成制度の助成対象が、従来の精神通院のみから全診療科の入院・通院に拡充されることに伴い、町が行う精神障害者医療費助成について必要な事項を定めるために、条例が制定されました。詳しいことは役場の福祉課にお問い合わせください。

次に、水道事業決算審査が行われ、財政指標を確認しましたが、当面の資金繰りは問題なく、有水率は95.0%と全国平均が90.6%であることから、漏水箇所の早期発見することにより、高水準を維持しています。しかし、今後水道使用量の減少は続くと予想され、それに伴う給水収益も年々厳しくなることや、配水管の耐用年数は40年と長い減価償却期間になっていることから修繕費等の費用の増加も今後想定されることから、水道事業運営に今後も注視していかなければなりません。

また懸案事項である、西和医療センター（旧三室病院）前の歩道については、残っている狭隘な部分の地権者の方も一日も早く安全な歩道にしたい意向をもっておられたのですが、国は今まで国道25号線拡張工事と同時に歩道整備を行うという基本姿勢を堅持していたことで歩道拡張が進捗できませんでした。しかし、昨年度から国も歩行者の安全対策への近隣住民及び地元行政の声に耳を傾ける姿勢に変わり、現在継続的に交渉が進められております。一日でも早期に歩行者が安心して通行できるように誠意努力いたします。

これからも、皆さんのいろいろなご意見を聞かせていただき、事業の優先順位を間違わないように心がけてまいります。

今日より、少しでも明日がよくなる「まち」にするために！
住民の皆様一人ひとりの想いがまちの未来を変えていきます！



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。